

平成28年度第2回尾張旭市子ども・子育て会議会議録

- 1 開催日時
平成28年10月27日（木）
開会 午後1時15分
閉会 午後2時50分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 2階 201会議室
- 3 出席委員
林陽子、井田寿、原口浩美、近藤信綱、秋田啓子、田中善廣、
村瀬美根代、富田紀子、小坂信行、藤島雅子、舩坂礼子 11名
- 4 欠席委員
金森俊輔、加藤多美、佐藤智晴 3名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
こども子育て部長 森喜久子、こども未来課長 松野宏美、
保育課長 加藤剛、保育課指導保育士 加藤初代、
こども課長 後藤収、こども課子育て支援室長 三浦明美、
こども課長補佐 浅野哲也、保育課保育係長 加藤貴之、
こども未来課こども政策係長 久野善之、
こども未来課こども政策係 吉田奈央
- 7 議題等
 - (1) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて
 - (2) 小規模保育事業所について
- 8 配布資料
 - ・こども子育て部の新設について
 - ・子ども・子育て支援事業計画の見直しについて・・・資料1
 - ・小規模保育事業所について・・・資料2
- 9 会議の要旨

こども子育て部長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、平成28年度第2回尾張旭市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>私は、こども子育て部長の森喜久子と申します。</p> <p>この10月に組織の改編を行いまして、今まで健康福祉部の中にありました子育て支援の部門を独立させて、こども子育て部として新たに創設をいたしました。今までのこども課をいくつかの課に再編しまして、さらに子育て支援の充実をしていこうという形をとっています。通常は年度初めに合わせて組織改編するのが通常ですが、半年早く10月に組織を再編することにつきましては、直近の課題であります待機児童対策、そして市長の子育てしやすいまちづくりをしていくという強い思いがあって、このような形になっています。</p> <p>こども子育て部の職員一同、事務も現場も一緒になってしっかり勤めていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きご指導賜りますようよろしくお願いいたします。</p> <p>では、ただ今申し上げました10月1日付けの組織見直しについて、担当からお伝えさせていただきます。</p>
事務局	(配布資料「こども子育て部の新設について」により説明)
こども子育て部長	<p>では、職員も少し異動がありましたので、事務局の紹介させていただきます。</p> <p>(事務局10名の紹介)</p> <p>では、本日の会議につきましては、お手元に配布いたしております次第に従って進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の欠席委員について報告させていただきます。加藤多美委員、佐藤智晴委員、金森俊輔委員の3名から欠席の旨の連絡がございました。</p> <p>本日の出席委員は11名でございますので、過半数の出席をいただいております。従いまして、本会議条例第6条第2項の規定による定足数に達しております。</p> <p>なお、この会議は公開しておりますので、会議の傍聴席を設けてございます。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表をまいりますので、委員の皆さまにはご了承いただきますようお願い申し上げます。</p>

こども子育て部長	<p>それでは、以降の会議の進行につきましては、議長である林陽子会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>私が勤務している大学でも、学生の就職活動の最初の山場が終わりまして、多くの学生が様々な職場でお世話になることが決まってきた時期です。</p> <p>本日は、当市の子ども・子育て支援事業計画の数値が実績と異なる状況が生じていると前回会議で報告がありましたことから、計画の見直しを審議していただくものです。</p> <p>先ほど待機児童の話もありましたが、待機児童対策をしても潜在的な待機児童というものもあり、実質的に待機児童をゼロにするということはどの市町も困難という課題を抱えています。</p> <p>先日、ニュースで拝見しましたが、保育園の新設に住民の方々が反対し、計画通りに保育園を開設できないという事態が発生しています。子どもが増えるのは好ましいことなのですが、それに伴って新たな支援も必要になってくるということは、嬉しい悲鳴のようでもありますが、それに伴う課題も生じさせているのかと思います。</p> <p>そのような中、会議では様々な視点でご審議をいただいて、尾張旭市で子育てしてよかったというふうに市民の方に言っていただけるよう、推進力としての役割を会議が果たしてまいりたいと思っております。また、スムーズな会議の進行もお願いしたいと思っておりますが、最後までよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、早速議題に入りたいと思っております。</p> <p>議題の(1)は、「子ども・子育て支援事業計画の見直しについて」でございます。</p> <p>事務局より、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1により説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。丁寧に説明、考察いただきました。それでは、ただ今の事務局の説明について、何かご質問・ご意見等があればお願いしたいと思います。</p>

部に昇格されたということで市民や市長の期待を背負っていらっしゃるって大変かと思いますが、これからもよろしく願いたします。

ただ今の事務局の説明でありました幼稚園の対応です。幼稚園は私立なので私企業の面がございますので、尾張旭市からの要請等ですぐに連動するわけではございませんが、私たち幼稚園の方の団体としましても尾張旭市の子育ての将来のためにどうしていけばいいかときちんと見直し、考えていこうと考えております。ご協力できるのであれば、できるだけ考えていきたいと思っております。

それから、幼稚園が受け入れられることができる保育所の問題があります。保育所の部分をすべて引き受けることは基本的に難しいですが、できるだけ市民のニーズに答えていく形はとっていききたいと思っておりますが、あくまで私たちは子どもの教育をメインで考えていますので、尾張旭市民の皆様のご了解を得ていただいて、私たちの思っていることもきちんと伝え、よりよく協力していきたいと思っております。

それから、量の話ですが、幼稚園と保育園を合わせた分量と尾張旭市全体での分量と考えますと、現在不足しているのではなく、市内の幼稚園と保育所全て含めると量の問題はそこまで問題でないと思われれます。本来なら幼稚園や保育所等どこに行っても自由という自由競争です。自由競争を活発にすることによって、市民のニーズも分散させることを目指せば、尾張旭市の子育ての質があがり、ニーズも平均化されると思います。また、どうしても量の話になってしまいますが、質の話もどこかできたらという認識を持っております。

そして、ただ今の推計の説明を拝聴いたしまして、データの見直しはさぞかし大変だったと思われれますが、これは相当大的なゆらぎの可能性が残っていると思います。計画として県に届けるとなるとフットワークが悪いので、現実的にはこれとは違うことをやらないといけないことも出てくるかもしれませんが、軽いフットワークでできるように体制を整えていただきたいなと思っております。

それから量については急増急減ですので、建物を作るとか人を雇用するとかいうのはなかなか難しいと思います。しかしながら、建物はなんとかなるとしても、人に関してはできたらプロ意識が高い人を確保したいと思っておりますので、そのために市としてどのような方策にしていくか考えて、レベルを上げていかないといけないと思います。ぜひ優秀な人材を尾張旭市に呼んでいただい

近藤委員	て、ニーズにあった弾力的な運用をし、利用者から「自分の子どもを大切にしたいから尾張旭市に引っ越してくる」というような市になっていただきたいと思います。
会長	ありがとうございました。 それでは、事務局から意見やコメントはありますか。
事務局	<p>こちらの議題につきましては、事前に幼稚園と協力、勉強し合いたいと近藤委員にもご相談させていただきました。今まで市として幼稚園に関わる仕事は就園奨励費というもので、教育委員会で行っていました。しかし、子ども・子育て支援新制度が平成27年度からスタートして、こども課に担当が変更になりました。それにより、同じ就学前の子どものことを、幼稚園は教育委員会、保育園はこども課ということではなく同じ窓口で未就学児について話できるようになったことで、平成27年度から幼稚園と市の意見交換会ができるようになりました。こうしたところから、保育だけでなく幼児教育についても市が学べる機会を持つことができるようになりました。</p> <p>昨今、少子化であっても保育ニーズが高まっていて、保育園だけではできないことを幼稚園にもご協力いただきまして幼児教育について知識を深めて携わっていこうとすることができるようになりました。平成28年度につきましても意見交換会を行いまして皆様のご意見をいただこうと思っています。</p> <p>今回の見直しにつきましては、量の話に終始してしまいましたが、先生のおっしゃるとおり、質についても話していきたいと思っております。</p>
会長	ありがとうございました。他に意見はございますか。
事務局	待機児童対策ももちろん大切なのですが、保育については質と量を両方確保していくようにと市長からも言われております。人の雇用に関しましてはご指摘いただいたとおりで、保育の対策と合わせて保育士の確保や就労体制についても見直していこうと思っております。

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>前々からこの会議でも、量の担保と同時に質の担保ということが常々言われておりました。特に認定こども園等の新しい制度ができて、0歳から含めて乳幼児期からの教育の質をどうしていくかという議論があります。幼稚園の培ってこられた教育のノウハウを0～2歳児に対応させたときにどのような質の高い教育が実現できるのでしょうか。このような教育の質の担保を考えたときに、ぜひ幼稚園のノウハウを賜って、尾張旭市は0～2歳児の教育の面も考えられているということで、幼稚園も保育施設も合わせて質の高い教育ができる尾張旭市というような良い風評が広がってくると評価されるのではないかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
近藤委員	こちらこそよろしくお願いいたします。
会長	<p>それでは、皆様に確認させていただきたいのは、資料1の2の人口推計グラフについて、「過去5年間の減少数の実績平均に最も近い中位推計」にのっとり事務局から説明をいただきましたが、高位や低位でなく中位推計を採用するということが今後の事務を進めていくことでよろしいでしょうか。</p>
	—同意—
会長	<p>それでは、中位推計で進めていくという前提で今後の議論をしていただければと思います。それでは何かご意見やご質問はありますか。</p>
原口委員	<p>資料1の4の確保方策の中で、広域利用のことも謳ってありますが、保育所や認定こども園等の保育の部分での広域利用についてはどのようになっているか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>法律上は広域利用をできないことはないのですが、現在保育というのは市町村が利用調整をして子どもの保育園の行き先を調整しています。近隣の市町でも、待機児童が生じているなど余裕がないというのが実状でございます、現実問題は難しいと思われれます。</p>
原口委員	<p>現在は、現実的に難しいということですが、将来的に検討されるということについてもまだこれからなののでしょうか。</p>
事務局	そのような実状です。
原口委員	<p>現在、働かれるお母様たちは色々な働き方をされていて、市外に就労され、市内の保育園や幼稚園では子育ては難しいという声を聞くこともあります。今後も色々な形で働かれるお母様達が多くなると思いますので、どのようになっているのかと思い、お伺いしました。</p>

会長	<p>ありがとうございました。尾張旭市の近隣の市を拝見すると、どの市も大変そうなところばかりだと思います。</p> <p>他にはご意見ご質問はありませんか。</p> <p>資料1の最後のところですが、平成41年度まで推計について見込んだときに、現時点で最も有効なやりかたはどのようなかというご提案だったかと思うのですが、今の計画通りいけば将来はゆとりのある状況になるということで、確かにこの推計通りと思いますが、いかがでしょうか。</p>
近藤委員	<p>子どもが2歳のときに保育所に入れようとしても入れないから、0、1歳のときに入るニーズが多くなっています。これに関しましては、量の調査がなかなかしづらいです。一人一人の親の心の中の問題で、聞くに聞けない把握しきれない部分だと思います。尾張旭市の姿勢として2、3歳児でも保育園にも入れるというものを打ち出しているのでしょうか。これはなかなか副作用もあって難しいとは思いますが、自分の子どもがどう育ててほしいか、自分がどういうふうに人生を歩みたいかで判断するように持っていくのが普通だと思いますので、無用な心配で入園ということは辞めていただきたいと思います。市がそのような姿勢でいていただけるよう市長に伝えていただきたいと思います。</p> <p>それが伝わると現在のニーズは本当の保育ニーズなのか架空のニーズなのか把握できると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>近藤委員がおっしゃるとおり、保育園に入れないから早めに入れるという話は聞きます。入れるので大丈夫と言いたいところですが、現在0～2歳児に待機児童が多いことから小規模保育事業所等で手厚く対応しているところです。もちろんその後3歳児以降の人数も増えますので、3歳児以降の入園についても安心してもらえるような計画を作っていきたいと思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>ただ今の近藤委員のご意見は、改めて事業計画に盛り込んだり、変更したりするものではないのですが、子ども・子育て会議で3歳未満児終了後の受け皿に対して安心感や、1年間の育児休業を取りたいけれども、1歳児では入園が難しいので、早めて0歳児から入園するということもあるらしいということです。はっきりした人数は出しにくいですが、どうも市民の間ではそのような心情があり、とにかく早いうちに入れないとその後が大変であるとひしひしと感じているので、そのような動きになると思われます。</p> <p>ただ、一方では、1～2年間の育児休業を取ると、仕事を続ける方は自分の技術なりや知識なりが遅れてしまうとの理由で早く復帰したいという方もみえます。そういう方には早く復帰できるように、また育児休業を長く取る方についても大丈夫というようなメッセージが伝わると市民の方は安心できると思います。子育てについて様々なことがあり錯綜していると思いますので、整理してこの会議での付帯意見としてまとめていただいて、近藤委員の気持ちを伝えていただくということでもよろしいでしょうか。よろしくをお願いします。</p> <p>では、資料1の5「計画見直しにより増加した提供体制整備の考え方」で、老朽保育所の建替等も検討いただいて定員を手厚くするというございますので、是非そのようにお願いしたいと思います。</p> <p>(2)で、様々な方法を検討ということでやや含みがありますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>村瀬委員</p>	<p>確保方策を見ますと、平成31年時点で一つの園規模の人数の対応が必要ということですが、実際に園を建てるとなると何年かかかりますが、実際に計画案があるのでしょうか。</p>

事務局	<p>現在はきちんと計画になっているものはございませんが、会長からお話がありましたとおり、最近は新しい場所での保育園開設はかなり難しいかと思われます。事前に周辺住民の方にお話をすることで時間がかかると思われますので、こちらの表現としましては建替等を検討していくという形で、今ある場所であればそういった部分も多少は和らぐのかと思います。今よりもう少し数の受け入れができるような形で考えたいと思っております。建替であってもその間運営していかないといけないので、その間の仮設の問題等は課題として考えていかないといけないと思っています。</p> <p>このようなことで、現在は具体的なものはありませんが、老朽化の施設対策と合わせて設置のあり方について考えていこうと思っております。</p>
会長	<p>いろいろ問題や課題が絡んで出てくると思います。</p> <p>それでは、概ね、ご提案いただいた資料1の見直し計画に沿って事務を進めていくことでよろしいでしょうか。</p> <p>県と協議するスケジュールも示していただいておりますが、感触としてはどうでしょうか。話をすれば実情をご理解いただけるようなのでしょうか。</p>
事務局	<p>県に伺って一度相談したことはあるのですが、県内でこういった見直しをしているという自治体がまだないので、見直しの内容が見えてきたら、その中身を確認しながら相談してやっていくということでお話をいただいております。この会議でご審議いただいた結果を持って県に相談に伺おうと思っております。</p>
会長	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、たくさんご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>子ども・子育て会議としましては、お示しいただいた計画の変更に当たり、意見を述べるのがその役割となっております。</p> <p>本日の会議の結論といたしましては、特別に意見を付すことはないかと思っておりますので、先ほどお話いただきましたように、県の方とご相談いただいて、今後の手続きを進めていただきたいと思います。</p> <p>それから、先ほどの近藤委員の意見につきまして、計画のことではございませんが、上の方に伝えていただければようお願いいたします。</p> <p>それでは、次に、議題の(2)「小規模保育事業所について」につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(資料2により説明)

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただ今の事務局の説明について、何かご質問・ご意見等があればお願いしたいと思います。</p>
近藤委員	<p>認可予定の小規模保育事業所の近くに幼稚園があります。年齢構成が重ならないので幼稚園とは別で考えても良いかとは思いますが、本日の伺ったことを幼稚園へ報告し、意見を聞いてまた市へ報告したいと思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>よろしくお伝えください。</p> <p>もう既にある小規模保育事業所は、2ヶ所でしたか。</p>
事務局	<p>はい、2ヶ所ありましていずれも市の東側三郷駅付近にございます。まず一つは、スクルドエンジェル保育園三郷園でして、三郷駅の東側です。もう一つはnursery school familyという三郷駅から北側のところにあります。</p>
会長	<p>定員は何人でしょうか。</p>
事務局	<p>スクルドエンジェル保育園三郷園は16名で、nursery school familyは18名です。</p>
会長	<p>小規模保育事業所は、色々な側面を持っています。市民の方の評価や満足度もあると思いますが、今ある小規模事業所については市民から満足いただいているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度4月から運営していただいて、はじめは市民もどのような保育をするのかわからなかったということもありましたが、半年過ぎて口コミで広まっているようでして、ほぼ定員を満たしている状況です。現在、来年度の入園受付を行っているのですが、小規模保育事業所を検討される方もいらっしゃいます。今のところは、保育に対する苦情や意見は届いていないので、概ね受け入れていただいていると認識しております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>安心いたしました。この会議でも何回か審議をいたしましたので、今のことを聞いて委員も安心していただいたと思います。</p> <p>引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは他はよろしいでしょうか。</p>

<p>会長</p>	<p>ご説明であったように平成29年度については、2つの小規模保育事業所が新たに開設されるということです。</p> <p>事業計画の1年前倒しということで市としてスピード感を持って進めていただいていると思います。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の議題は、以上で全て終わりましたが、本日のご審議や事務局の説明を聞いて何か感想等がありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは、議題としては終了させていただきます。</p> <p>次に、次第の4「その他」ということになりますが、事務局からは、何かありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>その他としまして、次回会議について、お伝えしたいと思います。</p> <p>次回の会議につきましては、平成29年2月頃の開催を予定しております。</p> <p>議題としましては、本日ご審議いただきました子ども・子育て支援事業計画見直しのご報告と小規模保育事業所の認可、確認にあたりまして、定員設定の意見を聞くことを予定しております。</p> <p>開催日時につきましては改めて連絡いたしますので、お忙しいとは思いますがよろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。その他、何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>特にはございませんが、本日は、活発な発言をいただき、大変ありがとうございました。</p> <p>担当がお伝えしましたとおり、次回の会議は年が明けまして2月頃と考えております。</p> <p>皆様、お忙しい中とは思いますがご出席いただきますようよろしく願いいたします。皆様におかれましては日頃から本市の子育て支援行政にご理解が協力を賜りまして、これから新しい部になりましても今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>本日は、長時間に渡り慎重にご審議いただきありがとうございました。着々と前に進めていただいて嬉しく思います。</p> <p>これをもちまして、平成28年度第2回尾張旭市子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>皆様、議事進行にご協力いただき、大変ありがとうございました。</p>